



資料5

令和元年度 第2回 豊田市自転車利用環境整備推進会議

～目標指標の設定～

令和2年1月22日（水）



1. 自転車活用推進に関する指標【一覧表】
2. 各指標の設定



指標名	現状値	目標値	計画目標		
			空間づくり	意識づくり	仕組みづくり
①自転車の交通事故死傷者数	281人 (平成28～30年平均)	239人	○	○	
②外出する際、自転車を利用できる市民の割合	30.4% (平成30年)	現状維持	○		○
③市民意識調査による「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」として満足する市民の割合	23.8% (平成28年)	26.8%	○	○	○
④自転車損害賠償保険加入率	令和2年実施予定 アンケート調査 結果値	令和2年実施予定 アンケート調査 結果値より向上		○	
⑤放置自転車撤去台数	1,896台 (平成28～30年平均)	1,611台			○

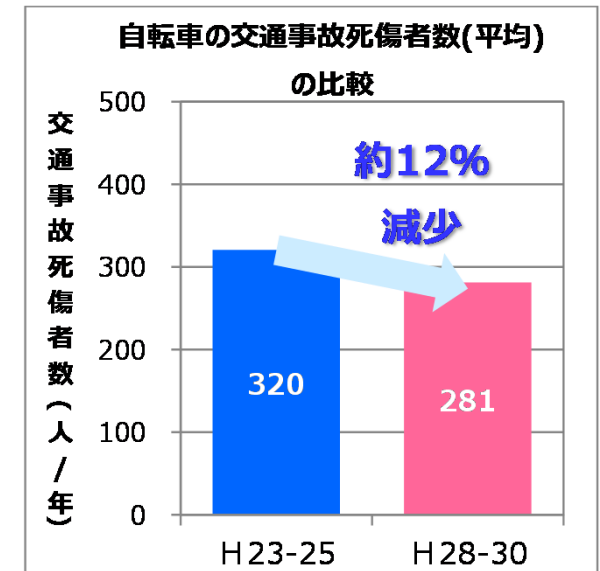


(1)

指標名	自転車の交通事故死傷者数	
概要	指標の定義	豊田市内の自転車交通事故死傷者数
	関係する目標	空間づくり、意識づくり
現状値	【現状値】 ・281人（平成28～30年平均）	【数値の出典（根拠）】 ・豊田市 調べ
目標値	【目標値】 ・239人	
	目標値の考え方	当初計画の策定前と策定後において、自転車の交通事故死傷者数の減少率が約12%であることから、それを上回る、15%減少した239人を目指す。
	目標値のフォローアップ年次	・毎年度

【補足】

豊田市における自転車の交通事故死傷者数



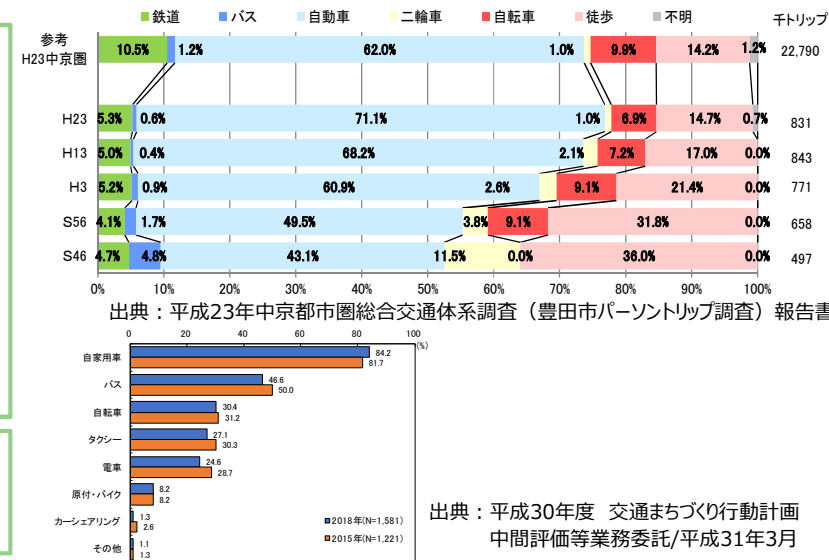
出典：愛知県警から提供された事故統計データを基に豊田市が作成



(2)

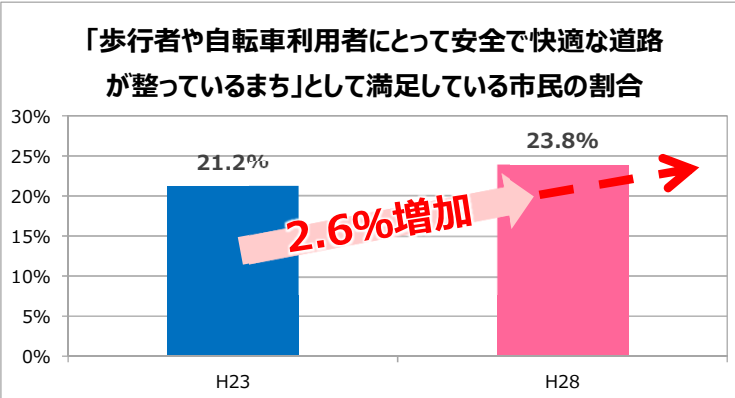
指標名	外出する際、自転車を利用できる市民の割合	
概要	指標の定義	日常生活や余暇等での外出について、自宅から最初に自転車を利用できる市民の割合
	関係する目標	空間づくり、仕組みづくり
現状値	【現状値】 ・30.4%（平成30年）	【数値の出典（根拠）】 ・豊田市 調べ
目標値	【目標値】 ・現状維持	人口減少や超高齢社会、豊田市内の自転車利用率（パーソントリップ調査）が減少傾向であることを踏まえ、現状維持を目指す。
	目標値の考え方	
	目標値のフォローアップ年次	

【補足】
豊田市の代表交通手段割合の推移 及び
日常生活で利用可能な公共交通手段の種類





(3)

指標名	市民意識調査による「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」 として満足する市民の割合							
概要	指標の定義	豊田市が行う市民意識調査の設問「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」において、「1. 満足していない」～「7. 満足している」の7段階の満足度で、「4. どちらともいえない」を超える5～7を回答した市民の割合						
	関係する目標	空間づくり、意識づくり、仕組みづくり						
現状値	【現状値】 ・23.8%（平成28年）	【数値の出典（根拠）】 ・豊田市 調べ						
目標値	【目標値】 ・26.8%	<p>【補足】 「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」として満足している市民の割合の推移</p>  <p>「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」として満足している市民の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>21.2%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>23.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：市民意識調査結果を基に豊田市が作成</p>	年度	割合	H23	21.2%	H28	23.8%
	年度		割合					
	H23		21.2%					
H28	23.8%							
目標値の考え方	当初計画の策定前と策定後において、市民意識調査の設問「歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち」に対する満足度が2.6%増加しているため、それを上回る、3.0%増加した26.8%を目指す。							
目標値のフォローアップ年次	・市民意識調査実施年度							



(4)

指標名	自転車損害賠償保険加入率	
概要	指標の定義	自転車利用者のうち、自転車損害賠償保険に加入している割合
	関係する目標	意識づくり
現状値	【現状値】 ・令和2年実施予定アンケート調査結果を記載	【数値の出典（根拠）】 ・豊田市 調べ
目標値	【目標値】 ・現状より向上	令和2年度に実施予定の市民アンケート調査結果から、指標を設定する。 ・アンケート調査実施年度
	目標値の考え方	
	目標値のフォローアップ年次	



(5)

指標名	放置自転車撤去台数	
概要	指標の定義	豊田市内に放置されている自転車の撤去台数
	関係する目標	仕組みづくり
現状値	【現状値】 ・1,896台（平成28～30年平均）	【数値の出典（根拠）】 ・豊田市 調べ
目標値	【目標値】 ・1,611台	【補足】 豊田市内駐輪場の放置自転車撤去台数の推移
	目標値の考え方	
	目標値のフォローアップ年次	・毎年度

